

六甲高山植物園 アジサイに寄生する植物 キヨスミウツボが見頃です

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:岡本交右)が運営する六甲高山植物園では、アジサイに寄生する植物「キヨスミウツボ」が見ごろを迎えています。

キヨスミウツボは、山地の木陰に生育する寄生植物で、当園で栽培しているアジサイの根に寄生しています。梅雨の一時期にしか姿が見られないため、希少な植物として園内でも人気があります。



◆キヨスミウツボ(ハマウツボ科)

北海道～九州、朝鮮・ウスリー・樺太・中国(中北部・東北)の山地の木陰に生え、カシ類、アジサイ類などの木の根に寄生する植物です。分布は広いですが、希にしか見つからない植物で、高さは5～10cmです。どの根からも出てくるわけではなく、条件があった限られた場所でのみ見られ、園内では現在2か所で生育しています。花色は、他の植物に寄生して養分を獲ているため、葉緑素がなく白色です。和名は、千葉県清澄山で採集され、花がウツボグサと似ていることからついています。開花後に花が黄色に変色するため、「オウトウカ(黄筒花)」ともいわれます。

当園に咲くキヨスミウツボは、現在見ごろを迎えており、6月25日ごろまでお楽しみいただける見込みです。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月21日(土・祝)～11月23日(月・祝) 【休園日】9月3日(木)、10日(木)

【開園時間】10:00～17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円/小人(4歳～小学生)310円